



1278  
4

朝夷巡嶋記全傳卷之四

東都 曲亭主人編輯



初輯第七

林阪乃牛奔車  
榎の虚北 崑崙佛

江三二廣光ハ幼君白鳩丸を肩まわらせ妻淺良井と被掖る。只管小走り。  
日ハろ種々足利るる。学校ニ到る。彼如の學頭均長老ハ王家の  
竊ニ告て孺君のうへ我憑し。均長老うち驚き白鳩ハ口をふ外姪  
さしバ憑れむ由かると死此の資とる。うづらんや。むやとて。人。  
強もなうけ引と。かひく。ぞ舎藏ぬ。とる。この空を瞻望。け。た日。  
る。小卷後街鏡喋。く。範頼終善寺。め。自殺。る。廣通重

長刀編卷

















又豊六小云と皆そまがりの暇我こひおのぬむかどしり蓋一蓋を同形めて起  
 行の准極とのへその結朝宮荒なる浅草寺を投く首途せり。さるに鈍佛か  
 覆れ虚乃崐崙仏ままそく経流流あかそくま清の老弱男女日あうそく黙く  
 田とのりいで畔ともひびく口提燈我これ先ぬと十日巻へ結もあうそくそのまられ中と  
 ちの豊六が麥畑とひびく踏荒せび罵詈雑言もまきりのほ頃四月の中流めく  
 奴小都と青麦の登りも十分まらそく一穂由惜とあうそく今茲に糧を盡れ  
 腹のそごも枯志のひく十日巻へ赴たり。通縁由を告ぐと制しあられと只管の  
 うち黙る鈍佛尼のあひのむと班多の歯を見しと可とところち笑ひあま罪を免  
 入りであるこの世の假の宿するゆ境一取う二取する夢を惜そく帝佛へ請はんと  
 うらそ負小禁めりといふそく和主がめだ悪入るそく地獄の寒の冷そくそん  
 めくは必前生の提婆そくびの守るそん。さるに佛敵の度へば疾逆そくそくそん

めく。再々どりのあひそく豊六の腹のそくそくのそくそく聊あは  
 あれが一言の淨いを見そくそくそく老のびくそくま清の群集小紛れて提の虚を  
 穴規ふと面三日小及びそく既あうそくそくあり。今のかうと多ひ決あそくその次乃  
 日外山を樂以推るとそく宿野我わが亭生あうそく山を下りて件は菴よ  
 赴けは彼此の老弱男女。陝たまで元満く。生るのり。入るのそく進そ  
 う移そく彼我推此は推そくそくそく提馬賽流の雪吹はま。ほ霞のそくそくそく一  
 念そく名名の菜種小聚く此は似そり。豊六の外表面より。左小立右小遠りそく裡乃  
 中をを親へ菴主の尼純仏の佛小對ひ高胡床そく香と煙終を漏つ。投くは貴  
 錢の爲ち方小必我配そく目口は暇あうそく時分はう。と豊六の勢ひ猛く引  
 提くは谷の柄をりそく立そく人人を擡そくかたけそく虚のほそり小進そく進そ  
 長柄の谷我杖めそく四下を信と疾視そくそく尼のそくそくま清の老弱男女劇變そく





此の晴と配と云ふは違つて虚のこころ紙窓より親峰の花さうは見え  
 ころまきのつゆのえかきくろく彼此人が聚會處とたは彼果て饒て多き厄は  
 皮戎刺利と云ふ執場も冷つ仏も喧嘩の側杖ふる足を覆ひるひふり  
 くら若人の代又立びく厄のろたふ魔羅と輝多クを痛しけしこのひあま  
 又うち笑へば葉の真顔めて物体るれつる千劍旅神と申宣の目  
 くらふも佛もあそぞゆるる求めく傷ひ多りごとくもさ侍過失の懺悔  
 勸解と云ふ罪いと云ふべし加以純比比丘尼への朝夷の眼代る船堀ぬ  
 由縁の人と云ふは菴を開く恥我雪め情我散りあふ小似くとも又それ  
 程の宗やあらん。と云ふは後中をうづらうしてた雨砂我あひぬとりの豊上  
 公心そのん方よりこれとまれり。眼代船堀園内ぬあ男児をうらま二入  
 あり。小堀太小珍二則れん又その乳母の純仏ありたその比眼代船堀ぬの内

室よりありひひくく寝寂寂しうけん子どもの乳母は構合へば乳母が  
 夫をぞ知く。あまのいそぎ我演ぞが眼前妻の女が改髪我かえ前かよりけり  
 こと不劇發れく影の鏡を贈りら。まのびく小勸解く件のみ財折と密  
 夫それら女房のまあ。あまがさむほ。かく和睦つらまらぬ這奴へのま  
 尼ふらまらぬ果他郷へ移さく。後中をうづらうしてた雨砂我あひぬとりの豊上  
 とまの隨はひひ放り理ゆん勝とも勢利は肩く上後我なら彼れめてあま  
 約束するは彼乳母の青道ゆつたるのうらう飾も用ごとく食もせ及形のどくを舟を  
 締むく。居る食も船堀ぬの賄ひふよまらり。さて彼夫が一子の上穩まて又  
 雲ひ母を便りくまよけし船堀ぬしよびとりと。切平と名けり。親は便ひる  
 今だの彼娘の出立人あり。と云ふは丁年の比めして裁五十ぬ及ぶる人ちかき  
 まるのまじかきまらや眼代又由縁ある尼あまらとて人よけれぬさぢを



文注所ての處に及ばぬ竊は彼処へ赴いた民の父母と爲すか意欲ありて件の  
残を豊上よとせよか。と仰ふより。みちのそごうと書つるゑあるの心こ  
還りしつゝのあらう残を告ぐと叮嚀と鏡示と唐櫃の蓋推用と也  
昔錢十貫文堆まゝ積む程よ葉の文小呆惑ひく。さうなるとさうなると  
納ごこの方なるわの尼法一舟とさうでも菴を鬧せ。おん外あらんくと安ま  
心せしむ。又ひけるは賜めの有るたまぐ辱まじと受てくたれたる死  
から。さうなるともひ解さく。皆門の徳小畧も病はるる良人か還るふ程ゆほ  
且くおまをひ解といふが既或ち掉く否むづうたるゆもあらま良人の田  
るる女房小娘とせが則豊六よ。さうせしむと異るる日ハ暮かりぬ  
眼代も持こびくことおまのさうめ吾ハあまふと立あを袖をささく小引とや  
うひくさひとらるる湯由進らせざう来ませしと縁端小膝穴穴と

目送るの萍草の遠くけ小後者をぬく走去ぬかすその日由入相小山寺乃鐘  
音つれくもも林へかへる比豊六ハ脊小餘は袖負てかへり来るあむ待じと  
葉の諸色は樹々荷我釋せ盤又汲くさうも水踏く豊六も汗推  
拭ふ拭いと肩の塵埃さうち拂ひ草鞋と死捨兩足を洗うと軀く牧遺  
せ。地元のほと人胡坐の積る残をえりく彼は何ぞと研とハ葉のハ  
うち笑まよぶ秋び多う。嚮小眼代懸堀ぬもま平群萍平といハ使者  
ありておん身がまのの働は残長めのと大さるるよもさく菴の寢殘を  
悉くよとまそく彼昔夢と荒さく心損致賢ひのさう口状ハ此こは箇様こと  
おらもあく告ぐ豊六眉うち聳め。そま入つやくさうゆがト縁初アさくも  
公さちとほまろりく純仏か非分を外はれ吾侪は賞美せんとするふ双方有一  
文注所へるよせで對決しそのちふこの残をさうるるたりのちよ千日菴乃













けり所三郎の入とを勞ひつゝ其小まきととほつ移り再び其丸は伏流  
 宿哉と泣くをさかきし宿は一二の途よりとと立上りて所三郎が脊を  
 哀しむるにとらるるの事の中竊小告つたるの事且彼丸へと誘引立上りて  
 屋の蔭小伴ひ豊六が更の起崑崙仏の事死仏が事眼代の使者洋平が表  
 の後を齋来とふより豊六の禁獄せしむる事結ぶる及べりて死密せし  
 告知せ彼死仏の眼代又由縁あつたる事計りし事とまりあつた故ふ  
 所の事脱す小途しる事と豊六の毎日の呵責小塔ざりけん昨夕暴死  
 三郎の母の毎小送恨の涙禁さひく涙うちあひば一三申鼻うちあひて又いふ  
 痛むる和郎が母より便り小あひ子へとて夫が搦捕らむ一日とて泣  
 くら泣明せん中々おとる瘵積め又又度りく刃の又細るまゝとて夫の

みるくかの事とせし時ハ皆絶て四鄰致騒りてさしごと雄しく老女を  
 必ひえしととも乱さざりし和郎が立上りて後俊いことと親むり子むり小  
 老親類る精進固りせりせしと吾情の籍と者なる御通家のちし連れの  
 外りゆめやぬしとともかともて進せんと思ふことと白地といひく死難  
 あり彼腹らる眼代殺傷痛く尼と目見りて豊六を責殺とも飽や和郎が  
 還りる母の事とも小搦捕らむ事科致看せんとも用意せむとも吾情の  
 空語りのありけりさかき親子虚こと哀れをえんといと危しとの事かや  
 老せんとも侶とあらうてあひの事と日致路費の母の事共とて奔ると  
 直りて百文の事と粒根が事拭又包はまき懐の事とさるる遠くとも  
 せし所三郎の感謝又堪むる好意のけの事とちか母が長病の事と負  
 るるせし物事とあひの厄難もくこの郷又せむとてとちか何れ時ゆ

返る。元。決。く受。く。と。推。辞。ハ。三。郎。我。う。ち。掉。否。返。さ。ご。も。下。九。時。由。あ。ま。  
 和。郎。と。の。身。拭。を。認。ま。り。や。と。同。お。て。ら。ど。め。て。い。つ。死。現。と。い。ぬ。る。比。が。失。へ。る。小。  
 よ。く。似。て。り。と。い。ふ。が。一。三。う。ち。微。笑。と。さ。も。あ。る。ま。え。ん。こ。の。身。拭。ハ。和。郎。が。交。衣。と。も。と。う。  
 る。ゆ。く。吾。侪。も。定。く。小。認。り。と。ま。さ。く。あ。い。ぬ。る。夜。桶。の。口。る。大。石。滾。せ。公。へ。入。つ。と。  
 その。跡。は。と。れ。落。と。あ。ま。ち。の。み。又。和。郎。が。為。体。骨。違。く。身。長。高。く。ち。ち。あ。る。べ。死。  
 と。あ。ら。う。件。の。石。を。ゆ。ゆ。申。神。牙。為。る。と。が。こ。が。る。は。田。園。の。慈。を。掃。ふ。あ。ら。う。  
 正。く。和。郎。が。孝。心。を。愛。さ。せ。る。鬼。神。と。い。ひ。て。肩。財。を。償。せ。又。身。拭。と。其。知。は。  
 送。と。そ。と。と。吾。侪。小。曉。じ。ぬ。神。謀。は。あ。ら。ん。さ。ら。ん。と。い。ひ。又。け。し。と。入。り。三。郎。  
 こ。の。身。拭。を。流。め。た。ぬ。彼。石。既。は。う。の。う。ま。と。ま。い。は。り。幸。く。そ。の。利。の。う。ん。小。貸。  
 小。物。致。返。さ。ご。と。も。免。毫。た。る。も。損。と。ら。ら。ぬ。と。推。辞。と。久。と。後。喻。と。その。言。  
 當。小。あ。ら。ざ。れ。ど。も。陰。德。實。小。陽。報。あり。阿。三。郎。ハ。今。さ。う。小。こ。が。せ。り。と。我。の。心。を。

ま。か。く。ま。さ。く。愛。さ。る。と。い。ふ。う。た。れ。お。の。幸。ひ。ん。と。思。く。馳。て。件。の。隈。成。ち。と。ころ。へ。披。く。が。  
 一。三。の。久。後。の。う。ん。小。現。示。一。吾。侪。ハ。魂。と。い。ひ。和。郎。ハ。彼。慈。を。母。は。ま。さ。と。信。ず。う。小。  
 起。形。の。准。備。せ。よ。と。れ。由。今。宵。ハ。心。を。ま。さ。と。努。め。入。ぬ。る。ま。さ。と。と。耳。結。ば。ご。う。果。て。  
 立。こ。れ。ゆ。く。時。と。暎。送。よ。ま。さ。と。く。い。え。且。ば。夢。の。音。櫻。は。背。影。さ。む。む。や。春。多。時。小。古。  
 異。へ。ち。る。阿。三。郎。ハ。母。の。哀。傷。は。も。と。と。推。す。る。ま。ち。と。や。告。入。の。う。り。や。い。く。慰。む。と。  
 尋。思。小。會。目。ハ。有。也。无。也。の。関。と。入。目。を。憚。ま。ま。と。や。軒。ち。ち。く。あ。ま。い。け。さ。の。背。門。の。ま。  
 閃。ま。と。ま。さ。と。入。り。只。今。の。入。り。ゆ。と。い。ひ。声。を。て。母。葉。ひ。も。障。子。引。開。き。と。出。門。三。  
 郎。致。待。ら。び。と。嚮。又。折。と。く。あ。り。あ。の。せ。と。棺。を。送。り。ま。じ。ひ。る。の。四。部。の。喪。小。  
 ち。や。あ。ら。ん。お。ん。が。ハ。又。冬。の。終。焉。朽。を。了。死。助。か。さ。ゆ。め。を。や。門。戸。引。開。て。こ。の。入。  
 と。い。ひ。正。く。哀。傷。又。と。ま。乱。し。は。ゆ。き。さ。ご。う。と。ま。づ。あ。ら。ぬ。は。せ。り。し。る。阿。三。郎。ハ。  
 且。羞。く。恭。く。身。を。塵。は。置。と。ら。ぬ。旅。宿。は。冬。の。枉。死。緯。の。始。末。ハ。魂。を。ち。あ。る。

一三門命の告げに色とり。遠恨の云々。冬一。如く。悲歎賜をぬこり。今更の  
 せんたる。元此度の大厄難こそまでや。解けはあつて。さうなる。善悪の  
 ちう後。出たりと母のり。共吾侍を捕縛んとて。とて。還る。或候とて。この  
 ちやと。繩をる。彼人が。ゆめ。親子他郷へ。まよと。路費を。さし  
 へ。こころ。が。あつ。れ。あ。色。二親。ろ。が。寛。枉。は。係。り。あ。つ。た。後。さ。で。も。  
 う。さ。の。え。の。怒。る。と。三。十。六。計。外。は。さ。し。と。は。この。暁。は。母。出。を。負。ひ。て。送。電  
 せ。た。外。は。術。か。り。と。く。准。依。志。あ。へ。と。い。そ。じ。ま。く。懐。より。一。三。三。贈。し。は。  
 張。次。と。う。出。て。ん。せ。い。の。某。の。頭。は。嘆。賞。と。現。彼。人。の。親。子。が。た。り。守。本  
 其。の。軟。産。の。軟。大。の。な。か。ぬ。利。益。へ。吾。侍。も。又。あ。り。る。件。の。り。成。ゆ。え。ま。づ。  
 竊。め。お。ん。才。を。さ。り。ん。ん。又。此。度。の。没。女。小。娘。托。す。物。残。り。ま。か。く。沽。却。し。些。乃。路  
 費。を。潤。お。た。り。や。吾。侍。の。囚。は。し。屍。を。市。の。棄。ら。せ。た。お。ん。才。の。善。美。の。く。た。り。

ゆ。後。く。恨。ま。り。た。り。と。と。と。子。を。親。さ。る。と。の。ま。ゆ。め。と。せん。  
 り。も。じ。ら。ぬ。も。強。面。一。氏。為。池。か。も。と。死。ぬ。や。人。の。死。ぬ。ん。務。ら。う。と。是。れ。起。し。  
 ち。或。携。り。上。座。へ。塵。の。け。拂。ひ。推。居。り。猛。は。敬。み。光。景。小。阿。三。郎。の。呆。と。果。母。の。こ。の  
 何。ぞ。の。ま。ゆ。め。の。さ。る。系。を。さ。り。や。と。立。ま。く。ま。ゆ。め。推。禁。り。緯。の。本。末。知。り。ぬ。哀  
 傷。は。心。乱。ま。り。あ。ら。ぬ。の。ま。ゆ。め。語。ら。う。と。思。ひ。改。め。く。温。が。サ。ス。の。  
 ち。あ。つ。た。と。免。て。使。召。せ。素。と。ら。ま。お。ん。才。が。二。親。の。豊。六。ら。う。と。は。な。か。ぬ。お。ん。才  
 僅。か。三。の。比。こ。の。大。猪。へ。俣。し。り。産。育。の。子。と。く。養。ひ。の。流。死。情。由。あ。る。と。い。ふ  
 ち。ま。の。清。和。源。氏。の。嫡。流。加。将。軍。伊。勢。守。義。仲。朝。臣。の。孫。胤。も。ん。の。中  
 原。兼。遠。の。息。女。なる。朝。絵。侍。兼。小。の。ち。あ。つ。た。と。免。て。使。召。せ。素。と。ら。ま。お。ん。才  
 治。養。二。年。の。材。木。曾。路。を。出。し。北。國。へ。兵。を。起。し。あ。ひ。の。軍。へ。援。攻。せ。り  
 取。向。か。ひ。は。乗。り。平。家。親。西。海。へ。追。つ。て。帝。都。守。護。を。軍。功。賞。大。あり

老る朝恩特は浅くは是より早晩出さる御事。おん行状よりうらまひは、  
 敵とするより、東軍俄頃、推しせ在り、宇治津田の隊、うちかたの防戦、  
 敵とするより、主後七騎、又、おのれ、頼絵、津井、舟、ゆ、ち、ち、越、越、と、投、て、  
 とく、湖水の畔へうちかた、おん大おる、矢、内兜と射さる。寂期、あ、り、  
 栗津野の残の雪と消る、実、又、元暦の、その、年の、正月、九日、上、ふ、あ、の、比、  
 丸、丸、母、君、の、胎、内、ふ、ま、り、く、元、素、よ、り、と、お、勇、の、丈、夫、小、ち、ち、を、優、ま、は、頼、絵、の、  
 君、の、日、真、先、又、ま、ま、り、内、田、三、郎、季、吉、と、敵、將、頼、絵、ま、ま、た、遠、小、勢、ひ、  
 究、つ、ま、和、田、小、太、郎、義、盛、ぬ、小、生、拘、ら、ま、り、ひ、ひ、は、ま、ま、て、鎌、倉、へ、幸、さ、り、  
 失、つ、る、べ、た、り、お、え、一、程、は、義、盛、ぬ、一、と、惜、ま、る、鎌、倉、殿、小、お、ま、り、妻、と、迎、へ、  
 と、ま、ま、情、縁、恩、義、小、絆、さ、ま、ま、その、意、又、隨、ひ、ひ、り、と、お、取、房、と、ま、ま、  
 老、の、辰、義、盛、ぬ、一、由、彼、君、の、心、操、又、感、嘆、一、と、この、名、む、り、の、妹、脊、川、委、ぬ、日、月、

日、ま、ま、り、お、丸、後、生、ま、り、と、且、お、指、さ、せ、その、年、の、冬、ま、ま、と、入、り、  
 阿、三、丸、と、名、け、多、く、血、を、こ、け、子、と、く、寵、愛、お、の、と、偏、は、母、公、の、勇、力、を、兼、ゆ、  
 嗣、せ、る、り、た、の、比、こ、ま、ま、の、里、ゆ、て、お、名、を、小、葛、と、ひ、び、そ、め、女、の、子、を、  
 産、ま、た、り、世、後、る、梅、の、お、う、ち、後、夫、と、お、合、一、と、件、の、小、葛、又、襦、袢、の、  
 中、お、人、は、取、り、と、お、え、と、乳、房、を、書、き、鎌、倉、小、旅、宿、を、し、り、お、ま、り、  
 お、ん、角、が、乳、母、は、ま、ま、り、お、ん、角、の、襦、袢、と、お、脾、海、と、お、り、病、ま、り、  
 児、の、神、お、あ、り、後、ど、三、才、お、り、ま、ま、で、足、こ、ま、ま、と、直、腹、ゆ、夜、の、日、を、  
 こ、ま、ま、り、お、丸、お、盛、ぬ、一、お、盛、恒、お、丸、母、前、り、共、眠、と、お、り、糸、池、  
 田、の、岬、お、女、僧、院、へ、と、遣、り、お、法、の、首、途、の、餞、別、は、鎌、倉、殿、と、お、恩、賜、り、  
 刀、三、田、満、仲、の、建、物、ろ、る、俱、利、迦、羅、丸、を、取、り、お、ひ、ち、宣、ふ、り、切、る、れ、ど、お、丸、  
 母、君、の、塊、お、ひ、ち、名、將、勇、婦、の、子、と、り、の、我、法、師、お、せ、ん、り、と、朽、ま、り、世、お、丸、









とちと直しく。下より刀尖まき。弁切へ。もちのへ。瞬もせ。熟視。天暗。物  
 焼刃の透る鮮血の母の像と。秋といひあへ。も。暇を。ぐ。た。靴小納めて。腰小帯。又。  
 眉を推して。恩。秋の。親とせ。よ。美。み。仗。友。植。待。べ。と。我。兼。る。の。の。君。え。四。家。  
 り。兄。才。で。勉。め。う。と。血。を。流。く。字。せ。ま。ひ。教。訓。の。目。今。母。小。面。り。抱。い。う。  
 異。ろ。ろ。と。一。言。め。て。衣。を。足。ま。と。半。句。と。も。由。岷。山。の。片。玉。み。く。と。貴。い。心。  
 ち。ん。母。の。志。料。と。思。意。と。符。合。せ。る。と。ま。ま。が。美。小。は。恩。は。答。へ。今。宵。宛。仏。體。堀。  
 等。と。慶。め。く。怒。又。復。ひ。母。を。脊。肩。く。他。郷。へ。走。り。時。を。ま。く。と。旗。眉。を。棒。又。  
 ち。と。て。立。あ。が。言。結。面。さ。身。の。運。動。自。然。と。信。る。勇。士。の。本。體。現。在。仲。の。慈。恩。願。  
 給。子。と。く。目。先。一。た。葉。の。慌。忙。た。く。杖。小。推。引。と。り。下。小。物。枝。の。盗。む。た。人。亂。ち。  
 竊。と。し。と。世。活。め。い。た。今。ぞ。ま。成。氏。の。背。み。よ。ら。さ。ま。け。り。能。あ。る。聲。の。血。を。隠。と。  
 い。の。程。小。習。得。一。文。学。芸。藝。ち。う。う。う。入。世。の。人。ぬ。せ。や。あ。り。あ。り。恩。の。為。は。怒。

ある。後。成。後。果。と。思。ひ。の。つ。り。ゆ。と。ま。く。有。り。た。ま。く。春。一。と。五。感。日。ろ。と。  
 ち。う。の。は。あ。ら。ぬ。と。船。堀。の。眼。代。小。緑。と。り。と。も。家。属。と。ま。ま。と。怒。る。は。可。恥。を。と。く。  
 千。金。の。身。を。要。ひ。あ。り。と。それ。お。孝。と。も。美。と。も。い。り。て。強。く。彼。れ。へ。執。た。あ。り。と。く。  
 ち。ん。眼。前。の。伏。し。く。後。の。勤。を。せ。と。阿。三。郎。が。腰。刀。小。の。杖。挿。と。り。短。慮。へ。  
 假。令。今。養。父。の。怒。を。復。さ。し。と。母。を。殺。し。何。せ。ん。と。く。練。小。後。ひ。て。袴。ひ。た。ふ。  
 知。多。く。い。く。不。成。成。ち。掉。く。こ。ら。が。絆。と。る。心。と。死。の。あ。ん。有。く。進。退。不。後。め。は。ん。  
 自。子。の。浦。ま。を。使。知。く。相。撲。の。こ。に。い。る。人。に。あ。ら。ま。と。一。と。上。落。乃。切。入。  
 赴。た。付。い。ん。を。食。と。け。く。旅。ま。る。小。路。費。あ。ら。ま。と。の。執。護。と。ま。ら。る。雜。具。小。代。り。  
 稠。ろ。の。想。と。こ。ら。が。あ。る。あ。り。せ。ば。い。ん。と。も。由。り。て。去。り。ひ。後。と。違。を。推。し。呼。び。詰。  
 ざ。ち。ん。且。く。受。く。潜。中。小。袂。色。小。巻。袴。と。ま。ら。後。母。の。聲。小。復。せ。物。と。ま。は。ん。と。あ。り。  
 ざ。ち。ん。聊。お。の。が。志。氣。詩。人。と。ま。れ。バ。母。の。意。は。稱。後。バ。せ。ん。と。ま。ら。も。は。せ。ら。く。上。落。の。場。



阿三郎  
よるあさ  
夜雙を  
麿全丸



三虎塚小孫二

三虎塚園内



三虎塚小孫太

阿三郎

三虎塚園内

この期及びて。口義ハ益母ハ吾情ガ案肉トシ。便置の屋ヲ送テ著人現親子  
ハ共ニ送テ白入ハ却危シ。阿三郎ハ今宵の出船ニ乗後道ニ後悔セシムトシ  
急げト葉母ヲ扶掖ツ。門口阿三郎ハ裾ヲ折テ。共ニ立出ルハ。カトシテ  
告別声ト昂々ト。宵闇ハ殘月ト。去入ノ情ト母ノ恩海ト。山ヲ登ル。夜ノそら  
阿三郎ハ。ゆたや。て。要時。其方ヲ目送りける。其ノ葉母ハ。四ノ靈山。其  
地ヲ残ル。編歴。果ハ信濃。ト。九十九餘歳ノ上壽ヲ。和田合戦ノ  
後。亦。韋。繪。の。尼。ト。彼。四。小。抄。ひ。と。ま。て。ある。と。た。ん。阿。三。郎。ハ。母。の。う。ら。う。を  
し。と。む。か。と。養。父。の。仇。ト。尼。眼。代。ホ。を。怒。ま。さ。し。た。我。立。去。じ。と。豫。々。也。ハ。静。堀。ガ  
宿。所。へ。と。り。潛。び。入。リ。殺。の。仇。ヲ。殺。彈。せ。し。其。の。圖。ハ。す。ふ。出。た。と。い。だ。る。の。物。語。長  
や。る。と。い。ふ。り。た。る。の。條。を。更。ニ。第。五。の。卷。の。そ。の。め。め。と。ん。さ。し。ゆ。の。端。を。む。く。の。と。

